



隈府小だより

学校教育目標「自ら考え なかまと高め合う 隈府小
～ 明日が楽しみな学校をめざして ～」

隈府小学校
学校だより No.10
文責 芹川博文
6月19日(金)

命を守る泳ぐ力 と 自ら判断する力 ～ プール開きを迎えて思うこと ～

1年生が元気よく小プールで「動物ごっこ」をしていました。隈府小では今週から水泳の授業がスタート。楽しみな児童も多いことでしょう。同時に、命にかかわる大切な授業。是非、この機会に水の怖さを学ぶと共に、自分で命を守るための泳ぐ力を身につけてほしいと願います。

今年も悲しい水の事故が報道されています。先日も13歳(中1)の子どもの水難事故が続くことについて流れていました。中学生になって行動範囲が広がることが要因の一つも。そのニュースを見て、泳ぐ力が大切であると共に、自分で考え、判断する力の大切さを、改めて感じました。また、自分から危険を冒さなくとも、将来、様々な自然災害や水の事故等に遭遇するかもしれません。水泳の授業時数は限られていますが、自分の命を守る力と判断力を育む一助になればと切に願います。



図書室に輝く星たち

～ 読書を通して 自分の時間と 自分の世界を ～

図書室に入ると「150冊達成!の宇宙空間」に6つの星が輝いていました。そして、その星たちには児童名が。4月からわずか2カ月半で、早くも150冊突破した児童が6名もいるとのこと。驚きです。隈府小では、どの子ども本に親しむように、全学年で毎週、図書時間を設けています。

本の世界は、映像以上に想像力を掻き立てます。知的好奇心が広がります。様々な時代や世界に行くこともできます。只今、読書旬間(6/15~26)です。是非、この機会に、素敵な一冊と出会ってほしいと願います。



【おススメの本 その1】

「アルプス席の母」

高校野球を、母の視点で描いたストーリー。あまりのリアルさにどんどん引き込まれます。中体連、総体、そして甲子園。今の季節にピッタリの一冊です。



【おススメの本 その2】

「モモ」

私が学生の頃に読んだ本。当時の社会を風刺した物語。いや、現代にこそ問われる内容です。「時間とは」「真の豊かさとは」を見直す本。「時間泥棒」が来る前に。



どちらも隈府小図書室にあります。お子様が借りてきた時、手に取っていただけたら幸いです。

気づく目 拾う勇氣 ～ 続けることの 優しさと強さ ～

「気づく目、拾う勇氣」。この言葉は、以前勤務していた学校で、地域の方と話をしていた時、いただいた言葉です。「道路に落ちているゴミに気づく人と、気づかない人がいる。気づいて、立ち止まり、しゃがんで取るには、相当な勇氣もいる。だから、ゴミを拾う行動は価値があるんです」とのことでした。

朝、登校しながらゴミや空き缶を拾ってくれる児童がいます。いつも、そと渡してくれます。「あの子たちは、ずっと続けてるんですよ」と、職員に教えてもらいました。「気づく目、拾う勇氣」に元気をもらった朝でした。

